

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第11期 第1年 第2回 第1日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2016(平成28)年6月19日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 23人

葉元聡、チャクラヴァルティー アルナンシュ、金スノグ、タカハシ
ライゼール ラモス、レベト ギアカン、幕内嘉雯、河本フアビオ
良則、ヘイ ジャフィ、スタント イルワン、河相宇、バルトコバ オクサナ、
ホサニ アハマド ユースフ、牟鳳菊、ディットマー ダニエラ、韓 籬、
ザスカ カリーナ、ケゼングア エドワード ムウインビ、徐 智妍、キースタ
ケーシー ジェイ、蔣 香梅、ヴィラマー ジェリー、鎌田 フアチマ、
ヒラチャン アスカ

(2) 事務局

鈴木 室長、小川 担当課長、北谷 担当課長、須藤 課長補佐、岩切 担当
係長、丸橋 職員、西村 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 9人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

ヘイ委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2016年度、第2回

第1日を開催する。本日は、ピーターソン・ケリーさんと鈴木イエレナさんから欠席の連絡が届いている。まずは、今日の日程と配付資料の確認について、事務局から説明をお願いします。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

ヘイ委員長「次に、前回会議のまとめについて事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

ヘイ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、議事に入る。最初の議事は、代表者の補充についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料2に基づき説明。)

ヘイ委員長「何か質問はあるか。(なし)では、何か意見のある人はいるか。

(なし)ないようなので、決をとる。代表者の補充を希望する人は手を挙げてください。(賛成多数)代表者の補充を希望することで決まった。

次の議事は臨時会についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料3に基づき説明。)

ヘイ委員長「会議の前に行われた実行委員会では、詳しい内容についてはまだ決まっていないが、みなさんオープン会議にするのがよいという意見だった。今日の会議では、臨時会をオープン会議にするかどうかということを決めたいが、何か意見はあるか。(なし)では、オープン会議とすることに賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数)では、今回も臨時会はオープン会議とすることで決定した。では、次の議事に移る。次はかわさき市民祭りへの参加についてだ。事務局から説明をお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料4に基づき説明。)

ヘイ委員長「何か質問はあるか。」

ザスカ委員「パレードは、具体的にどのようなことをするのか。」

ヘイ委員長「資料に写真が載っているが、民族衣装を着たり、家族や知り合いも呼んだりして代表者会議のPRをする。」

デイトマー委員「テントの場所については、やはりこちらの希望通りにはいかないのか。」

事務局丸橋職員「希望を出すことはできるが、どこの団体も希望を出すと思うので代表者会議だけ優先的に希望通りというわけにはいかない。」

キースタ委員「3日間の中で一番参加人数が多いのはいつか。」

事務局丸橋職員「基本的に日曜日が一番多いと思われる。」

ヘイ委員長「では、初めに参加する日について決めたい。スケジュールに金曜日が含まれているのだが、金曜日に参加できる人はどのくらいいるか。

（ 挙手 ）やはり少なすぎるので、金曜日は候補から外したい。それでよいか。（ 異議なし ）では、5日（土）と6日（日）の参加をどうするかということで決めたい。2日間とも参加するのに賛成の人は手を挙げてください。

（ 4人 ）パレードは6日ということなので、6日に参加するのに賛成の人は手を挙げてください。（ 賛成多数 ）では、今年は6日（日）のみの参加で決定とする。次に、参加する内容についてだ。テントについて何か意見はあるか。」

ケゼングア副委員長「前回、参加した時にテントでいろいろとお茶を配ったり、PRをしたりしたので、テントがないとPRはできないと思う。」

ヘイ委員長「では、決をとる。テントの参加に賛成の人は手を挙げてください。

（ 全員賛成 ）では、まずはテントに参加するということで決定だ。次に、ステージについて意見はあるか。（ なし ）では、決をとる。ステージの参加に賛成の人は手を挙げてください。（ 少数 ）では、不参加に賛成の人は手を挙げてください。（ 賛成多数 ）ステージには不参加ということになった。最後に、パレードについて決めたい。何か意見はあるか。（ なし ）では、パレードの参加に賛成の人は手を挙げてください。（ 全員賛成 ）パレードは参加ということで決定だ。かわさき市民祭りについては、以上だ。6日だけの参加ということになったので、みなさんスケジュールを空けておいてください。次は、川崎市外国人市民意識実態調査についてだ。事務局から説明と報告をお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料5、調査報告書に基づき説明・報告。）

ヘイ委員長「では、ここで一旦10分間の休憩を入れて、その後質問などを受けたい。再開は15時20分だ。」

（ 休憩 ）

ヘイ委員長「それでは、会議を再開する。まずは、今の説明・報告について質問はあるか。（ なし ）では、感想や意見はあるか。」

徐委員「いくつかあるのだが。まず、川崎市に住んでいる理由についてももう少し詳しく知りたいと思った。あわせて、どのくらい川崎市に住む予定なのかということもわかるとよいかもしれない。それと、川崎市以外に住んだ経験のある人も多いと思うので、他の自治体との比較もできるとよいと思った。」

ディットマー委員「報告でもあったが、回収率が低いということもあり、本当に困っている人たちの声がどこまで拾えているかということは気をつけなければいけないと思う。」

河委員「調査結果は、代表者会議以外でどういったところで活用されているのか。」

事務局高橋専門調査員「まず、調査報告書に関してだが、市のホームページでも一般に公開されている。活用についてだが、調査が終わったばかりということもあり、今の時点で具体的な成果にまでつながっているわけではない。まずは、庁内の会議などで広く課題を共有して、取組について検討してもらっている段階だ。具体的な取組や成果につながるのはいずれかと思う。ただ、この代表者会議では、第10期の提言でもデータを利用したりしているので、そういった意味では活用されていると思う。」

キースタ委員「私も回収率が低いことが気になったので、次回は工夫して改善してもらいたい。それと、たとえば差別でも「はい」「いいえ」で終わってしまっているのもう少し具体的な経験を掘り下げて調べる必要があると思った。」

事務局高橋専門調査員「アンケート調査では「はい」「いいえ」といった調査になっているが、2年目にインタビュー調査も行っている。そちらの報告書を見たら、差別だけではなく、かなり具体的な経験が載っている。」

チャクラヴァルティー委員「回収結果が低いのは、調査票が日本語だからか。」

事務局高橋専門調査員「調査票は日本語だけではなく多言語のものも用意した。」

ヘイ委員長「調査報告書は少し厚いが、今後、わたたちが提言などを考えていく時に参考になるものなので、ぜひみなさん目を通しておいってください。では、次の議事に移る。今後の審議計画についてだ。事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料6に基づき説明。)

ヘイ委員長「それでは、今後のスケジュールについて審議したい。まずはグループワークの回数を決めたい。正副委員長と事務局との会議では、これまでのやり方で1年かけて審議してテーマを絞ってきたものを、1回のグループワークだけでテーマを絞ることは現実的に難しいだろうという結論になった。まずは、グループワークを2回やって視野を広げたり、アイデアを共有したりすることが大切ではないかと思うが、何か意見はあるか。」

ディットマー委員「みなさんが提出した審議したいテーマのリストは人数にバラつきがあるので、人数の少ないものを除けば1回でもいいのではないか。」

ケゼンガ副委員長「11月にはオープン会議を実施することも決まったので、あま

り急いでテーマを絞るよりも、代表者以外の人たちの声も聞いたうえでテーマを絞るのがよいのではないか。」

ヘイ委員長「ほかに意見はあるか。(なし)では、決をとる。グループワークの回数について2回で賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数)グループワークについては2回ということで決定した。部会設置の時期について心配している人もいると思うが、遅くとも1月ということで、前倒しできるようならば12月にすることもできるので、状況をみながら柔軟に対応していきたいと考えている。柔軟に対応するという方針で賛成の人は手を挙げてください。(全員賛成)なるべく部会をスムーズに設置できるようにするためにも、みなさん2回のグループワークで活発に議論してもらいたい。引き続き、次回のグループワークについて話し合いたい。参考資料にあるように、みなさんの関心のあるテーマは広くたくさんある。資料にあるように、案では関心のある人だけで話し合うのではなく、まずは全グループで共通のテーマで話し合っ意見やアイデアを共有するのがよいのではと思っている。グループのメンバーについては、新規と継続や男女などのバランスを考えたものがよいと思う。何か意見はあるか。」

ホサニ委員「代表者以外の困っていることを知ることも大事だと思うので、全部のグループで共通のテーマがよいと思う。それと調査結果と参考資料にある17のテーマのリンクができるとうい。」

キースタ委員「私も同じで意見だ。事務局にお願いしたいのだが、リストに沿って報告書のどこを読めばいいのか、重要な部分を教えて欲しい。」

タカハシ委員「私も次回までに宿題があった方がいいと思う。ただ、報告書はたぶん全部重要なことなので、本当は全部読むべきだと思う。難しい場合は、少なくとも自分の関心のあるところだけでも読んで来て欲しい。それと、できれば具体的に市に対してどういった取組をして欲しいのかまで考えてくるとよいと思う。」

ヒラチャン委員「共通のテーマで話し合うことに反対ではないが、一方でグループごとにテーマを絞ると深い議論ができるというメリットもあると思う。」

ヘイ委員長「では、決をとって決めたい。全グループで共通のテーマで話し合うことに賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数)全グループが共通のテーマで話し合うということに決まった。次に、進め方だが、資料では審議したいリストの17のテーマを2回に分けるという案が載っているが、今までの

話し合いの中で調査結果も踏まえながら、重要性の高いものに絞るのもありではないかという意見が出ていると思う。何か意見はあるか。」

ザスカ委員「重要性の高いものに絞って話し合うべきだと思う。関心のないテーマは深く話せると思えない。」

ディットマー委員「なるべく近い領域のテーマをあわせたりするだけでも効率がよくなると思う。」

河委員「今回、部会設置の前にグループワークをやろうとなった理由は、部会を設置してしまうとみなさんが意見を自由に話し合うということが難しくなるので、その前にまずは浅くてもいいから自由に意見を出し合おうということがあったと思う。個別のテーマについて深く話し合うのは、部会を設置してからでよいのではないか。」

バルトコバ委員「絞った方が効率がよいという意見もわかるが、やはり代表者の関心だけで決めるのはあまりよくないと思う。たとえば、資料では代表者で住宅・居住に関心があるのは1人だが、調査では住宅とか居住で困っている人は少なくない。」

タカハシ委員「広く全部のテーマについて話し合った方がよいと思うが、話し合う順番も関心が多いものからではなく、逆に関心の少ないものから話し合った方がよいと思う。関心が多いものから始めてしまうと、結局、話が盛りあがって時間をオーバーして関心の少ないテーマを話し合う時間がなくなってしまおうと思う。」

金委員「何が重要かということ、私たちだけの関心や話し合う前から決めることはできないのではないか。」

ヘイ委員長「私も同意見だ。もし、重要度に順番をつけるとしたら、それ自体議論をしなければいけないと思う。」

韓委員「私たちは代表者として、やはり今ここに座っていない約3万人の外国人の市民が困っていることを検討すべき責任というのがあると思う。私たちが何が重要かを決めるのではなく、調査結果から何が重要かを決めればどうか。」

ヘイ委員長「事務局から少し補足をお願いする。」

事務局高橋専門調査員「事務局というよりも、調査チームのメンバーとして少し話をさせていただきたい。みなさん、アンケート調査にはとても関心があるようだが、アンケート調査だけではなくインタビュー調査もぜひ活用してもらいたいと思っている。アンケート調査の方が、データやグラフがあるので見やすい

かもしれないが、インタビュー調査では誰がどういったことで困っているのかという具体的な事例がたくさん載っている。ぜひ、2つの調査結果をバランスよく活用して欲しい。」

ヘイ委員長「では、そろそろ決をとりたい。審議したいテーマのリストを踏まえて、グループワークでは広く満遍なく話し合うということに賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）では、グループワークではテーマを絞るのではなく、広く多くのテーマについて話し合うということに決まった。話し合う順番については何か意見はあるか。」

ケゼンダ副委員長「近いテーマが並んでいるので、わざわざ優先順位をつけなくてもリストの順番でよいと思う。」

ドイツマー委員「先ほども言ったが、いくつかの近いテーマをくっつけてもいいと思う。」

ホサニ委員「ある程度の時間配分は決めておいた方がよいと思う。」

ヘイ委員長「では、グループワークの進め方は、1回目が審議したいテーマの1から8、2回目が9から17ということでよいか。賛成の人は手を挙げてください。（賛成多数）先ほど宿題があった方がよいという意見もあったが、みなさんには2冊の調査報告書を読んで来て欲しい。少なくとも自分が関心のあるところは読んで来て欲しい。事務局は、簡単なものでよいのでどこを読んだらよいかという資料を作成してもらえるか。」

事務局高橋専門調査員「わかりました。」

タカハシ委員「次の会議まで2か月空くので、読むだけではなくて、忘れてしまわないように具体的にどんな課題があるのかということリストアップしておいた方がよいと思う。」

金委員「報告書を読んでわからないことは、事務局に聞けば教えてくれると思う。」

ヘイ委員長「最後に、グループのメンバーを固定するかどうか決めたい。何か意見はあるか。」

スタント委員「2回あるので、1回ずつ入れ替えた方がよいと思う。」

葉委員「グループのメンバーはどうするのか。」

ヘイ委員長「資料にもあるように、新規の人と継続の人、男女比などをバランスよくミックスするのがよいのではないかと考えているが、ほかに何かあるか。（なし）具体的に会議の中で話し合っ決めて決めることではないと思うので、そういった考え方で事務局に任せたい。事務局に任せるということで、賛成

の人は手を挙げてください。(全員賛成) 議論の途中だが、時間が延びそうだ。会議の延長について賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数) では、少し延長したい。話を戻す。メンバーを固定にするかどうかについて決をとる。1回目と2回目でメンバーを入れ替えることに賛成の人は手を挙げてください。(賛成多数) では、1回目と2回目ではメンバーを入れ替えることにする。では、次は実行委員会報告だ。まずは、市民祭り実行委員会からお願いする。」

ホサニ委員「市民祭り実行委員会の委員長は私になった。今日、話したことはインターナショナル・フェスティバルの内容についてだ。今年も去年と同じで①パネルの展示、②広報、③世界のじゃんけん大会、④世界のクイズ、⑤国旗を描こう、ということにした。多文化フェスタさいわいの内容については、インターナショナル・フェスティバルの様子をみて検討しようということになった。」

(インターナショナル・フェスティバルの参加者の確認。)

ヘイ委員長「続いて、ニューズレター編集委員会から報告をお願いする。」

デイトマー委員「ニューズレター編集委員会の委員長になったダニエラだ。今日は9月に出る予定のNo. 57について、内容を話し合っ決めて。すでに掲載が決まっている記事もあったが、空いているスペースには葉さんに中国の観光地の紹介をしてもらうことにした。」

ヘイ委員長「本日の議事は以上だ。事務局から事務連絡をお願いする。」

【事務連絡】

- ・インターナショナル・フェスティバルについて

ヘイ委員長「次回の会議だが、7月と8月は会議がない。ただ、7月3日にインターナショナル・フェスティバルがあるので、ぜひ参加の協力をお願いする。次回の会議は、9月11日、日曜日、午後2時から、ここ国際交流センターで開催する。これで2016年度第2回第1日の会議を終わりにする。お疲れさまでした。」